万円が計上されており、現在、第１回福岡市議会３月定例会において審議が行われています。

ロープウェイ構想、何が問題か？

過大な将来予測データを前提とした「ロープウェイありき」の検討会議！

異議あり！

■ロープウェイのイメージ図（RKB ニュース

現在、ウォーターフロント地区（博多港中央ふ頭・マリンメッセ福岡・サンパレス周辺）への訪問者数は延べ５，６万人。

それが今後の開発で約３倍の延べ１６万人になる、という前提がそもそも無理な数字です。

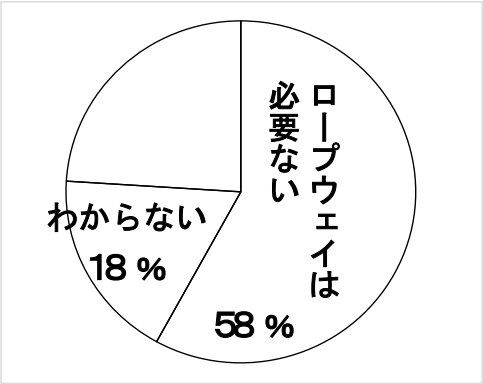
このように無理な前提で議論が進められるようになった最大の要因は、高島市長が昨年１１月の市長選挙でロープウェイの導入を「選挙公約」として掲げたことにあります。

このため、市職員は市長の意向に沿うような結果を導き出すために、およそ現実的でない過大な将来予測データを使わざるを得なくなったというのが実態です。

ロープウェイは必要ない！
～市政アンケート結果より～

私たち福岡市民クラブは、このような検討結果を受けて、ロープウェイ導入の是非について市政アンケートを実施、合計 2201 名（2／28 現在）の市民の方々にご回答いただきました。その結果をまとめたのが下のグラフです。

ご協力いただいた市民の過半数（５８％）が明確に「ロープウェイは必要ない」という内容でしたが、興味深いのは「わからない」という回答をされた方々が相当数（１８％）いらっしゃることです。



【アンケートをまとめたグラフ】

おそらくは、「必要なのかどうかがわからない」ということかと思いますが、少なくともこのアンケート結果から分かることは、市民のおよそ８割が「ロープウェイの必要性を感じていない」ということです。

私たちはみなさんの声を受けて、この「ロープウェイ構想」を全力で止める決意です！！

福岡市議会議員（東区）
おたいし 俊明
事務所　〒811-0204
福岡市東区奈多１丁目 10－12